



KOGANEI

調質機器

COOL SEPARATOR クールセパレータ INDEX

RoHS指令規制物質対応製品

特長・除湿原理	264
注文記号・仕様・寸法図	265
取扱い要領と注意事項	266



注意

ご使用になる前に後付ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

GMZ、FRZ
小形 FR
マルチ
マニホールド R
大形 F.R.L.
サブ
ライン
クール
セパレータ
ドレン F
圧力計
膜式
ドライヤ
チューブ
ドライヤ
イン
ライン F
QJ
レギュレータ
小形
精密 R
ステン
レス R
精密ステ
ンレス R
電一空
R
DT コン
プレッサ
QJ スタン
ダード・ミニ
QJ スタン
ダード SUS
QJ
ロータリ
TAC
継手
QJS
QJS
ダイヤル付
スロットル
バルブ
ハンド
バルブ
ストップ
弁付 QJ
チェック
バルブ
パワーレ
デュース
コネクタ
サブライ
ジョイント
チューブ
圧力
スイッチ
流量
センサ
多チャンネル
MSU
ショック
アブソーバ
ハイドロ
C・R
iB-
Flow
スピード
コントローラ
マフラ、
エキゾースト
コンバータ、
プリーダ
ホルダ
& コラム
インジ
ケータ
ブラ
チェーン
真空
バルブ U
インライン
エジェクタ
エジェクタ
ME
エジェクタ
FME
エジェクタ
多段
バキューム
パッド
真空 R
異型/特種
シリンダ
非接触
真空 P
ユニット
吸着 U
VYP
DT 真空
ポンプ
ピュア
プロセス
フッ素
ポンプ

手軽に乾燥空気が供給できる
差圧式除湿器

クールセパレータ

●配管途中にセットするだけで手軽に乾燥空気が得られます。

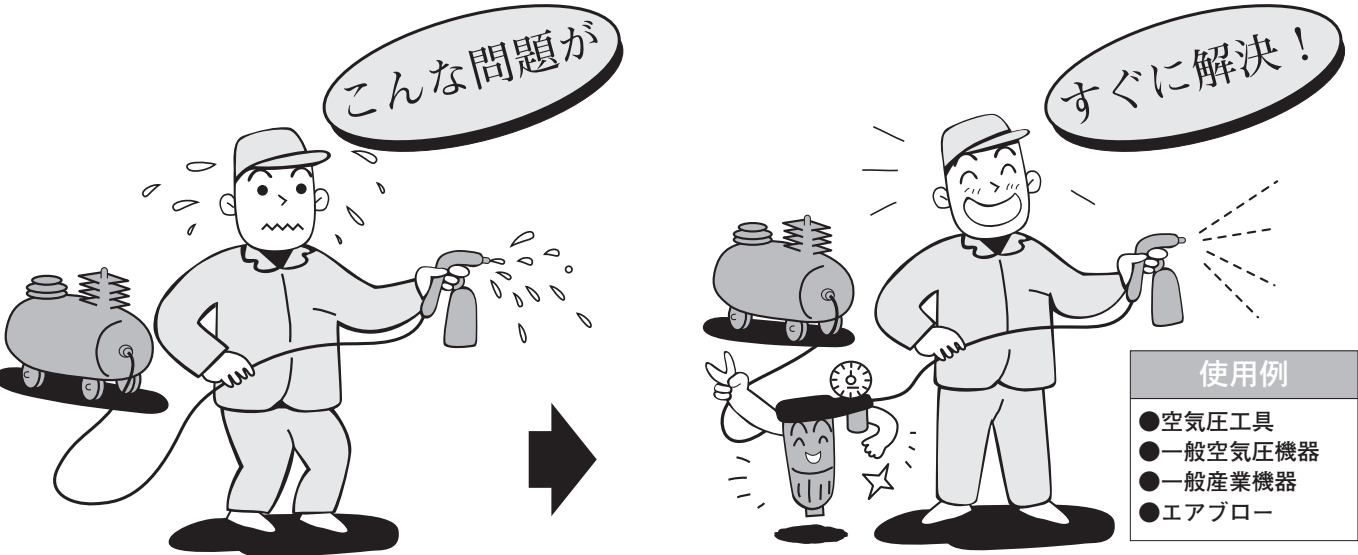
差圧式により軽量、コンパクト化を実現。
さらに、電源が不要ですので手軽に乾燥空気が供給できます。

●流量変動に追従する独自の構造

流量、圧力の変動時も確実な除湿性能を発揮しますので
末端でのエア管理に最適です。

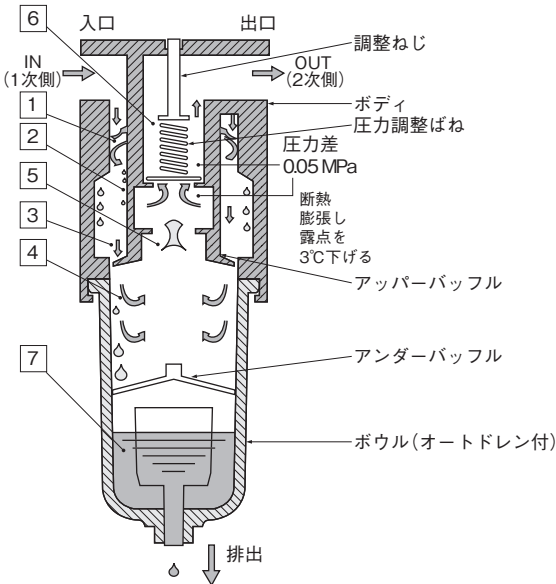
●メンテナンスフリー

フィルタ類を使用していないため目詰まりがありません。
また、ドレンはオートドレントラップより自動的に排出します。

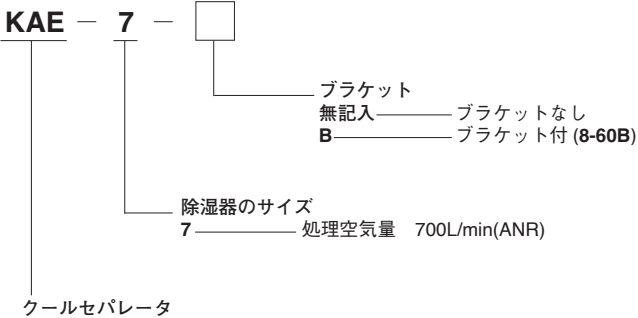


除湿原理

- 1 過飽和水分を分離**
独自の旋回ルーバにより高効率な遠心力を発生し、重い水分は外周へ飛ばされ、
フォグ状の湿分は中心に集めます。
- 2 フォグ状湿分を水滴化**
中心に集まったフォグ状の湿分は壁面と接触して冷却され、凝縮した水滴は遠心力
により外周へ飛ばします。
- 3 微小湿分を衝突分離**
さらに微細なフォグ状の湿分はバッフルに衝突して水滴化します。
- 4 発生した水滴を重力分離**
ボウル内に入った空気は水分と空気に確実に分離し、水滴は下方へたまります。
- 5 独自の機構で壁面を冷却**
独自の機構により断熱膨張し、壁面が冷却されます。
- 6 入口空気と熱交換**
断熱膨張によって冷却された空気は入口空気と熱交換され、乾燥します。
- 7 ボウル内にたまった水滴はフロートにより器外へ排出**



注文記号



オプション (クールセパレータ単体使用時に必要です。)

ブラケット ———— **8-60B**

注：配管支持形ブラケット (8-60B) は1セット (2個入り) の販売となります。

備考 クールセパレータにはフィルタ機構が無いためエアフィルタ(5 μ m)を取り付けて使用してください。
エアフィルタ：F600-03-A
接続継手：8-60D

仕様

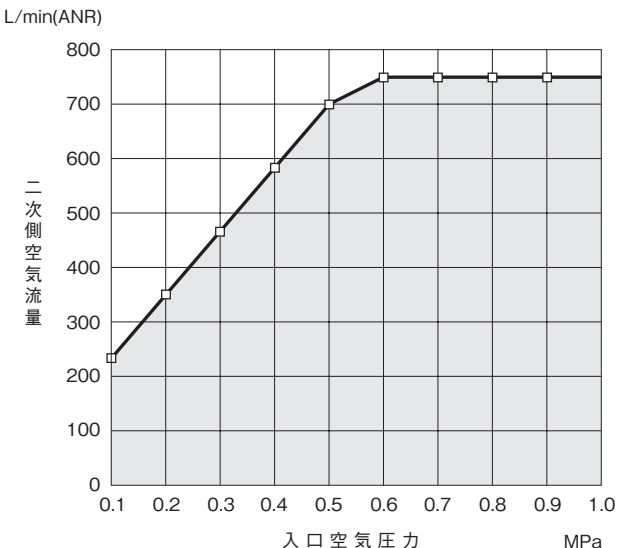
ご注意 周囲温度がクールセパレータ入口空気温度より低くなるような場所での使用は避けてください。
低くなるような場合、再び結露する恐れがあります。

項目	形式	KAE-7
性能	処理空気量注	L/min(ANR) 700
	露点降下注	°C 3(圧力下)
使用範囲	使用流体	空気
	使用温度範囲	°C 2~60
	使用圧力範囲	MPa 0.1~0.99
質量	kg	1.1
空気出入口接続口径		Rc1/2
オートドレントラップ		フロート式
適用コンプレッサ	kW	5

注：<処理条件>
入口空気圧力：0.5MPa
入口空気温度：30°C
周囲温度：30°C

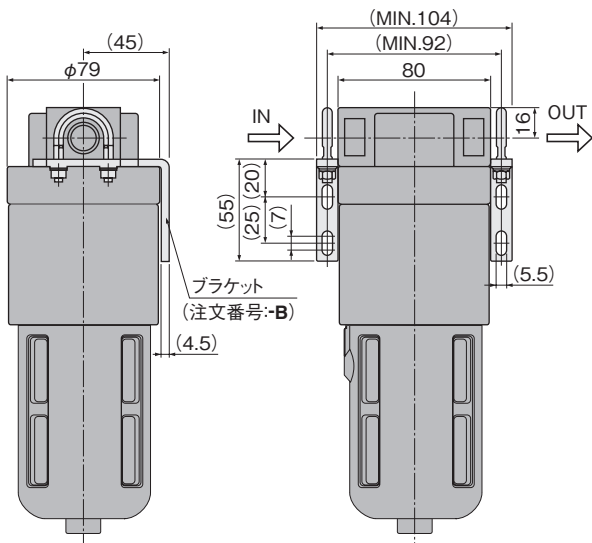
推奨最大流量

● クールセパレータの推奨最大流量は下記グラフです。必ず下記グラフ線以下の流量で使用してください。



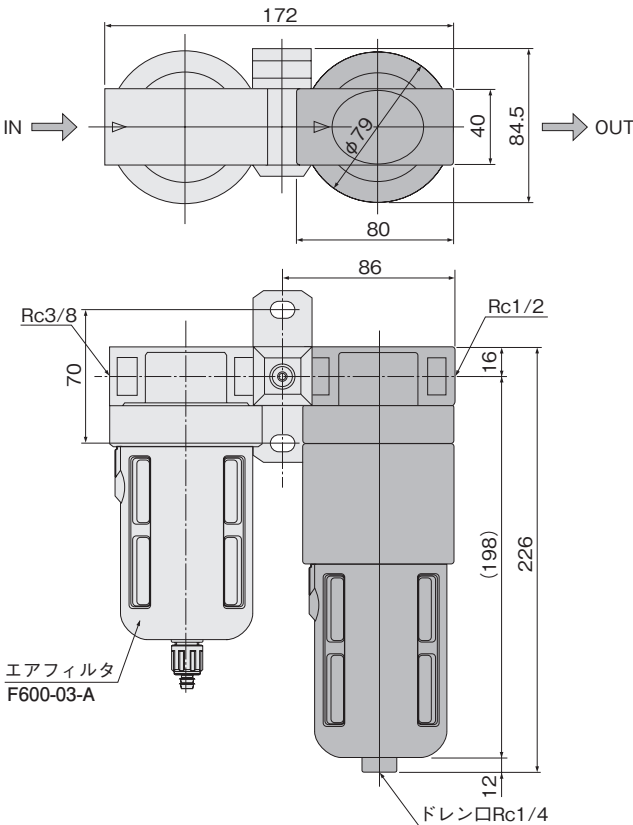
寸法図 (mm)

● KAE-7-B







● KAE-7 + F600-03-A + 8-60D <エアフィルタ取付時>

備考：エアフィルタ (F600-03-A) と Dモジュール (8-60D) は別売です。



クールセパレータシステム図（参考）

ご注意:クールセパレータの前に必ずエアフィルタ(5μm)を取り付けて使用してください。

エアフィルタ(5μm)	Dモジュール	クールセパレータ	Dモジュール	ミストフィルタ(0.3μm)	Dモジュール	レギュレータ
	+		+		+	
オートドレン付注				オートドレン付注		
F600-03-A注	8-60D	KAE-7	8-60D	MF600-03-A注	8-40D	R300-03

□は最低必要なシステムです。

注：オートドレンなしもあります。注文記号より-Aを外してご注文ください。

オートドレンは供給圧力が0.15MPaに上昇するまでは、ドレン排出口より、エアが排気されますが異常ではありません。

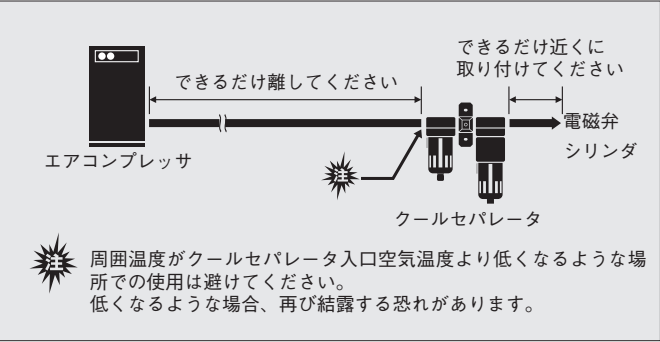
この時ドレンツマミを回転させてもエアは止まりません。供給圧力が0.15MPaまで立ち上がるのに時間がかかるような場合は最寄りの当社営業所へご相談ください。

取扱い要領と注意事項



取付・配管

1. エアコンプレッサ側近への配置は避けてください。
入口空気温度が周囲温度と同じになるように、使用する空気圧機器のできるだけ近くに取り付けてください。



2. 入気および周囲温度が2～60℃の範囲で使用してください。
3. 取付方法はボウル側を下にして垂直に取り付けてください。
また、メンテナンスが容易にできるようにスペースをとってください。
(地上からMIN.100mm)



一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング(圧縮空気の吹き流し)を十分に行なってください。
配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。
2. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。
有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・フロンガス・酸類・アルカリ類。
ボウルの材質は、ポリカーボネートです。後付ページの「ポリカーボネート・ナイロンの耐薬品性について」もご覧ください。
3. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。